

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 2 月 14 日(2024.2.14)

【公開番号】特開 2024-16244(P2024-16244A)
【公開日】令和 6 年 2 月 6 日(2024.2.6)
【年通号数】公開公報(特許)2024-023
【出願番号】特願 2023-193195(P2023-193195)
【国際特許分類】

A 6 3 F 13/5372(2014.01)

10

A 6 3 F 13/2145(2014.01)

A 6 3 F 13/426(2014.01)

A 6 3 F 13/53(2014.01)

【F I】

A 6 3 F 13/5372

A 6 3 F 13/2145

A 6 3 F 13/426

A 6 3 F 13/53

【手続補正書】

20

【提出日】令和 6 年 1 月 31 日(2024.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

端末が実行する、インタフェース表示方法であって、前記方法は、

仮想環境に対応する表示画面を表示するステップと、

30

ユーザが第 1 仮想オブジェクトを制御して目標操作を実行させることに応答して、前記表示画面中に前記目標操作の指示図形を表示するステップであって、前記指示図形は前記目標操作の有効範囲を指示することに用いられる、ステップと、

前記目標操作の有効範囲内に命中可能な仮想オブジェクトが存在する場合、マップ展示コントロール中に前記命中可能な仮想オブジェクトに対して、命中可能との提示情報を表示するステップであって、前記マップ展示コントロールは仮想環境マップを展示することに用いられるユーザインタフェース UI コントロールである、ステップと、を含む、インタフェース表示方法。

【請求項 2】

マップ展示コントロール中に前記命中可能な仮想オブジェクトに対して、命中可能との提示情報を表示する前記ステップは、

40

前記マップ展示コントロール中に第 2 仮想オブジェクトのアイコンと対応する命中可能との提示情報を表示するステップを含み、

前記命中可能との提示情報は前記第 2 仮想オブジェクトが前記命中可能な仮想オブジェクトであることを指示することに用いられる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記マップ展示コントロール中に第 2 仮想オブジェクトのアイコンと対応する命中提示情報を表示する前記ステップの後に、

前記第 2 仮想オブジェクトが前記命中可能な仮想オブジェクトではない場合、前記マップ展示コントロール中で前記第 2 仮想オブジェクトのアイコンと対応する前記命中可能と

50

の提示情報の表示をキャンセルするステップをさらに含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記マップ展示コントロール中に第 2 仮想オブジェクトのアイコンと対応する命中可能との提示情報を表示する前記ステップの後に、

前記目標操作に対する実行命令に応答して、前記マップ展示コントロール中に前記第 2 仮想オブジェクトのアイコンと対応する命中提示情報を表示するステップをさらに含む、

前記命中提示情報は前記目標操作が前記第 2 仮想オブジェクトに命中することを指示することに用いられる、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記マップ展示コントロール中に第 2 仮想オブジェクトのアイコンと対応する命中可能との提示情報を表示する前記ステップの前に、

前記仮想環境中の仮想オブジェクトの位置情報及び前記目標操作の有効範囲に基づいて仮想オブジェクトリストを決定するステップであって、前記仮想オブジェクトリストは前記目標操作の有効範囲内に位置する目標仮想オブジェクトを含む、ステップと、

前記マップ展示コントロール中の表示状態にあるアイコンリストを取得するステップであって、前記アイコンリストは仮想オブジェクトのアイコンを含む、ステップと、

前記アイコンリスト中のアイコンに対応する仮想オブジェクトをトラバースし、前記アイコンリスト中のアイコンに対応する仮想オブジェクトが前記仮想オブジェクトリストにあるか否かを決定するステップと、を含む、

もし前記アイコンに対応する仮想オブジェクトが前記仮想オブジェクトリストにあるなら、前記アイコンに対応する仮想オブジェクトが第 2 仮想オブジェクトであると決定し、前記マップ展示コントロール中に第 2 仮想オブジェクトのアイコンと対応する命中可能との提示情報を表示する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記方法は、

前記ユーザが前記第 1 仮想オブジェクトを制御して前記目標操作を実行させることに応答して、前記マップ展示コントロール中に前記目標操作のサムネイル指示図形を表示するステップをさらに含む、

前記サムネイル指示図形は前記指示図形の前記マップ展示コントロールでの簡略化された図形表現である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記目標操作が方向型操作に属する場合、前記サムネイル指示図形は前記第 1 仮想オブジェクトのアイコンを起点とし、前記目標操作の選択方向を指し示す直線図形を含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記目標操作が位置型操作に属する場合、前記サムネイル指示図形は、前記第 1 仮想オブジェクトのアイコンを中心とし、前記目標操作の有効範囲に対応する範囲提示図形、及び前記目標操作の選択実行位置に対応する位置提示図形を含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

マップ展示コントロール中に前記命中可能な仮想オブジェクトに対して、命中可能との提示情報を表示前記ステップは、

前記マップ展示コントロールを表示するステップと、

前記命中可能な仮想オブジェクトの位置情報を取得するステップと、

前記命中可能な仮想オブジェクトの位置情報に基づいて、前記マップ展示コントロール中に前記命中可能な仮想オブジェクトのアイコンを表示し、且つ前記命中可能な仮想オブジェクトのアイコン上に前記命中可能との前記提示情報を表示するステップと、を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記マップ展示コントロールを表示する前記ステップは、

前記有効範囲に基づいて、前記仮想環境マップの表示範囲を決定するステップであって

10

20

30

40

50

前記表示範囲は前記有効範囲よりも大きい、ステップと、

前記表示範囲に基づいて前記マップ展示コントロールに対応する展示画面を決定するステップと、

前記マップ展示コントロールのサムネイルパラメータを取得するステップであって、前記サムネイルパラメータは前記マップ展示コントロールと前記展示画面とのサイズ比を指示することに用いられる、ステップと、

前記サムネイルパラメータに基づいて前記展示画面をスケーリングし、前記マップ展示コントロールを得るステップと、

前記マップ展示コントロールを表示するステップと、を含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

端末に配備される、インタフェース表示装置であって、前記装置は、

仮想環境に対応する表示画面を表示することに用いられる画面表示モジュールと、

ユーザが第 1 仮想オブジェクトを制御して目標操作を実行させることに応答して、前記表示画面中に前記目標操作の指示図形を表示することに用いられる図形表示モジュールであって、前記指示図形は前記目標操作の有効範囲を指示することに用いられる、図形表示モジュールと、

前記目標操作の有効範囲内に命中可能な仮想オブジェクトが存在する場合、マップ展示コントロール中に前記命中可能な仮想オブジェクトに対して、命中可能との提示情報を表示することに用いられるオブジェクトマークモジュールであって、前記マップ展示コントロールは仮想環境マップを展示することに用いられる UI コントロールである、オブジェクトマークモジュールと、を含む、インタフェース表示装置。

【請求項 12】

インタフェース表示用の端末であって、前記端末はプロセッサ及びメモリを含み、前記メモリに少なくとも 1 つの命令、少なくとも 1 つのプログラム、コードセット又は命令セットが記憶されており、前記少なくとも 1 つの命令、前記少なくとも 1 つのプログラム、前記コードセット又は命令セットは、前記プロセッサがロードし、且つ実行することにより、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のインタフェース表示方法を実施する、インタフェース表示用の端末。

【請求項 13】

コンピュータ可読記憶媒体であって、前記記憶媒体に少なくとも 1 つの命令、少なくとも 1 つのプログラム、コードセット又は命令セットが記憶されており、前記少なくとも 1 つの命令、前記少なくとも 1 つのプログラム、前記コードセット又は命令セットは、プロセッサがロードし、且つ実行することにより、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のインタフェース表示方法を実施する、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 14】

コンピュータプログラムであって、前記コンピュータプログラム製品を実行すると、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のインタフェース表示方法を実施することに用いられる、コンピュータプログラム。

10

20

30

40

50